



4号湾岸線(貝塚～りんくうJCT)で終日通行止めによるリニューアル工事を実施します
11月15日(火)午前4時～25日(金)午前6時(10日間)



阪神高速道路株式会社は、安全・安心・快適を未来につなげるため、構造物の長寿命化に向けた「高速道路リニューアルプロジェクト」に取り組んでいます。その一環として4号湾岸線の「貝塚～りんくうJCT」間で上下線終日通行止めによるリニューアル工事を実施します。

皆さまへのご迷惑などを最小限とするよう取り組んでまいります。阪神高速道路及び関西国際空港へのアクセスを含む周辺道路の混雑が予想されることから、お車のご利用をお控えいただき鉄道など公共交通機関をご利用いただくか、う回ルートのご利用やご利用時間帯の変更をご検討いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

今回のリニューアル工事の実施にあたり、「『4号湾岸線(貝塚～りんくうJCT)リニューアル工事』特設サイト」を開設し、通行止めの詳細情報やう回情報、交通影響の予測等などをご提供いたしますので是非ご覧ください。



『4号湾岸線(貝塚～りんくうJCT)リニューアル工事』における終日通行止めの概要

▼工事期間

2022年11月15日(火)午前4時～11月25日(金)午前6時(10日間)

▼工事区間

4号湾岸線(貝塚～りんくうJCT)上下線:延長6.7km

▼通行止め出入口

- 4号湾岸線:岸和田南入口(南行)
貝塚入口(南行)貝塚出口(北行)、
泉佐野北出口(南行)、泉佐野北入口(北行)
泉佐野南出口(南行)、泉佐野南入口(北行)
りんくうJCT(関空方面/阪和道方面)



※関西空港自動車道りんくうICは通常通りご利用いただけます。
※貝塚入口(北行)、貝塚出口(南行)は通常通りご利用いただけます。

『4号湾岸線（貝塚～りんくうJCT）リニューアル工事』の概要

4号湾岸線(貝塚～りんくうJCT)は、関西における国際社会の玄関口である関西国際空港の開港に先駆けて1994年4月に開通して以来、約28年が経過しており、鋼床版の疲労対策が必要であり、4号湾岸線の中でも対策優先度の高い区間となっております。また、この区間は1994年の開通後、一度も通行止め等による大規模補修工事は実施できておらず、他の区間と比較しても穴ぼこ（ポットホール）など舗装損傷が顕在化しており、その都度、応急的な車線規制工事により補修を繰り返し、お客さまにご迷惑をおかけしてきました。



4号湾岸線の鋼床版き裂損傷状況



4号湾岸線の舗装損傷状況

本リニューアル工事では、鋼床版の疲労耐久性の向上を目的としたSFRC舗装の実施やコンクリート床版の長寿命化に向けた高性能床版防水の実施など構造物の補強工事を行うとともに、経年劣化した舗装全面打ち換えや損傷した伸縮継手を補修し、安全性・走行性の向上、沿道環境の改善を図ります。併せて、夜間の視認性向上を目的として車のヘッドライトでも明るく反射する超高輝度反射シートを採用した標識板への取替え、機械設備の更新など、様々な工事を行います。なお、これらの工事は10日間の終日通行止めにより実施し、構造物の長寿命化やより走りやすい道路になるようなサービス向上施策を実施することにより、4号湾岸線（貝塚～りんくうJCT）をリニューアルします。

工事期間中の交通影響予測

通行止め期間中、阪神高速道路において4号湾岸線南行の通行止め端末となる貝塚出口付近で、また、一般道において大阪臨海線や国道26号がう回によって交通が集中することで、渋滞が発生する可能性があります。

お客さまや沿道にお住いの皆さまには大変ご不便をおかけしますが、お車のご利用を控えていただき鉄道などの公共交通機関をご利用いただくか、う回ルートのご利用やご利用時間帯の変更等をご検討いただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

朝夕ピーク時間帯（8時台・17時台）における渋滞予測結果は、別紙にてご確認ください。



高速道路の渋滞予測(平日 17時台)



一般道路の渋滞予測(平日 17時台)

リニューアル工事に関する情報提供のご案内

お客さまや沿道にお住まいの方々にお車のご利用をお控えいただくなど、渋滞を避けたご利用を計画いただくため、工事の情報をお知らせするとともに、工事の進捗状況などをご確認いただけるよう、以下①～⑨の取り組みによる情報を提供いたします。

① マスメディアを活用した情報提供

4号湾岸線（貝塚～りんくう JCT）の終日通行止めに関して、広域のお客さまに広報が可能な広告媒体（テレビ CM、ラジオ CM、新聞広告）を工事区間周辺だけでなく、関西広域にも展開を図り、多くのお客さまにお知らせする機会を確保いたします。

② インターネット広告を活用した情報提供

Yahoo!Japan フライタイム イスプレイや Youtube 動画等のウェブサイトやアプリの広告枠を活用して情報提供を行います。

③ 「4号湾岸線（貝塚～りんくう JCT）のリニューアル工事特設サイト」による情報提供

「4号湾岸線（貝塚～りんくう JCT）のリニューアル工事特設サイト」を開設し、通行止めの詳細情報や交通影響予測、工事の進捗状況など、きめ細やかな情報をご確認いただけます。

特設サイト URL : <https://www.hanshin-exp.co.jp/renewal/wangan2022/>

※PC、スマートフォン、タブレットに対応しています

特設サイト イメージ

④ Twitter・Facebookの公式アカウントによる情報提供

TwitterやFacebookを活用し、工事進捗状況や交通状況など、きめ細やかな情報をご確認いただけます。

(アカウント名)

Twitter：阪神高速 @hex_info

URL：https://twitter.com/hex_info

Facebook：阪神高速道路株式会社 @hanshin.exp

URL：<https://www.facebook.com/hanshin.exp>



Twitterでの情報提供(例)

⑤ リーフレット・ポスターなどによる情報提供

高速道路におけるサービスエリア・パーキングエリアや公共施設のほか、バス・タクシー・トラック協会などに配布します。

⑥ 横断幕・看板・標識覆幕(高速道路上及び一般道路上)の設置による情報提供

阪神高速道路をご利用されるお客さまや、沿道にお住まいの皆さまに対して、目に留まりやすい場所及び迂回路となる他高速道路などに横断幕や看板・標識覆幕・仮設LED表示板を設置し、情報提供を行います。



横断幕



PA設置の立看板



仮設LED表示板(標識車)



標識覆幕

⑦ 道路情報板などを活用した情報提供

道路情報板、道路情報ラジオ（1620kHz）、自動電話案内（愛ウェイダイヤル 078-321-1620（兵庫地区）／06-6576-1620（大阪地区））、道路情報ターミナル、VICSなどで情報を提供するとともに、大型車の利用割合が高いETC2.0による広報（音声案内及びETC2.0連動ナビへの画面表示）も行います。また、日本道路交通情報センター（JARTIC）などへも協力を依頼します。



道路情報板

⑧ 案内専用ダイヤルなどの設置

通行止め区間、道路情報などのお問い合わせに対応する専用窓口を設置します。

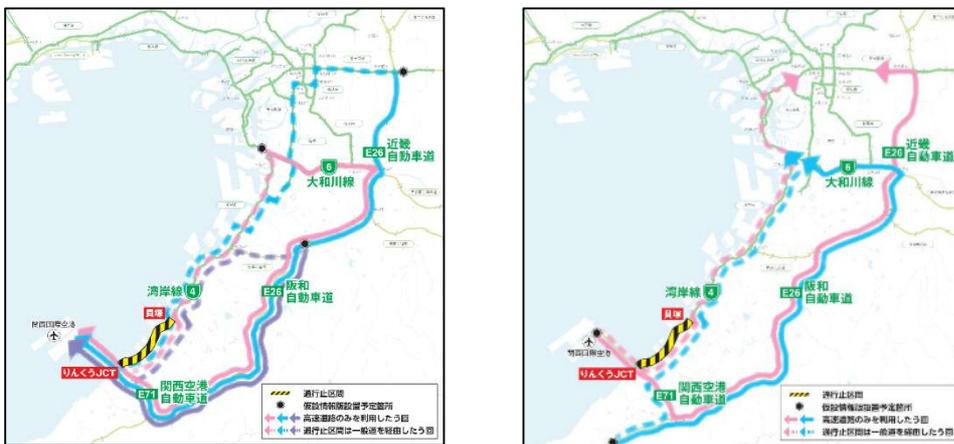
<フリーダイヤル> 0120-84-1620

<受付時間>

	~11月13日(日)	8:30~19:00
11月14日(月)		8:30~24:00
11月15日(火)	~11月16日(水)	0:00~24:00
11月17日(木)		0:00~22:00
11月18日(金)	~11月24日(木)	6:00~22:00
11月25日(金)		6:00~19:00

⑨ う回経路の所要時間に関する情報提供

既設所要時間表示板による情報提供のほか、仮設情報板にてう回経路の所要時間をご確認いただけます。



南行

北行

う回経路所要時間広報箇所



仮設情報板設置イメージ



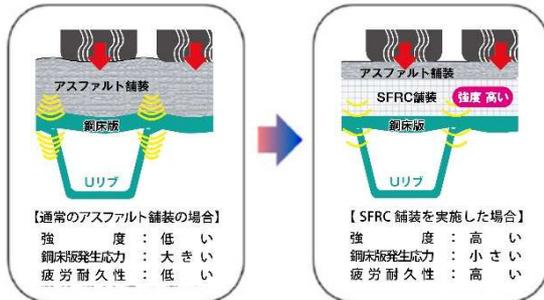
三宝 JCT での表示例

施工内容

構造物の長寿命化（リニューアル）

1) SFRC 舗装への舗装打ち換え

鋼床版の疲労き裂が発生している箇所においては、既存のアスファルト舗装を剛性の高い鋼繊維補強コンクリート（SFRC）に置き換えることにより鋼床版の応力を軽減し、疲労耐久性を向上させ、長寿命化を図ります。



通常のアスファルト舗装とSFRC舗装の比較



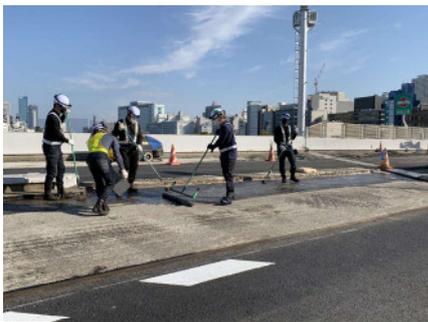
<SFRC施工状況>

2) コンクリート床版の高性能床版防水の実施

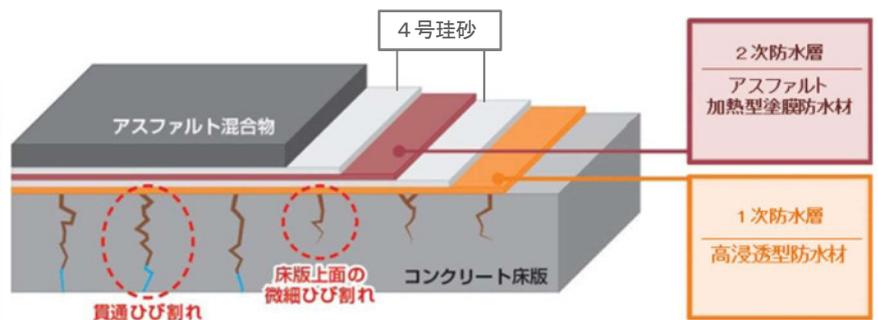
コンクリート床版では、大型車の走行によって繰り返し受ける負荷の影響が蓄積し、ひび割れが発生している場合があります。その部分に雨水などが浸透することにより、ひび割れの進行が加速し、コンクリート床版自体の強度を低下させるとともに、路面の陥没等の損傷につながる恐れがあります。

そこで、今回のリニューアル工事では、床版のひび割れへの浸透性の高い1次防水層（高浸透型防水材料）と2次防水層（アスファルト加熱型塗膜系防水材料）を組み合わせた高性能床版防水を実施します。

これにより、ひび割れを1次防水層で閉塞し、万が一、その上の2次防水層が損傷した場合も、床版への雨水の進入を抑制するため、コンクリート床版の長寿命化を図ることが期待できます。



高性能床版防水の施工状況



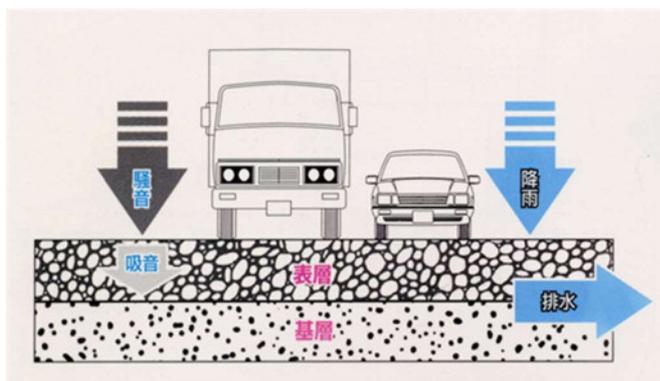
高性能床版防水の概念図

安全性・走行性の向上、沿道環境の改善

3) 安全性・走行性の向上のための舗装打ち換え

4号湾岸線の舗装では、穴ぼこ（ポットホール）などの損傷が多発しています。これらの損傷に対し、これまでは損傷箇所への応急的・局所的な補修を繰り返し行ってきましたが、今回のリニューアル工事では、4号湾岸線の通行止め区間内における舗装を全面的に打ち換えます。これにより平坦性が回復し、快適に走行いた

だけになるほか、透水効果があり雨天時でも視認性の良い排水性舗装やカーブ区間などにはすべりにくい舗装（密粒ギャップ舗装）を施工することにより、走行時の安全性を向上させます。



排水性舗装の効果



排水性舗装

排水性舗装の施工例

4) 走行性の向上・沿道環境改善のための伸縮継手の補修

橋梁のつなぎ目である伸縮継手(ジョイント)には、写真のような損傷が生じているものがあり、走行の快適性を低下させているだけではなく、車両走行時の振動により沿道環境を悪化させる原因にもなっています。このような伸縮継手を耐久性が高い新しいものに取替えることで、走行性の向上と沿道環境の改善を図ります。



損傷事例(ゴムジョイントのはがれ)



新しいジョイント

サービスの向上

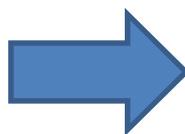
5) より見やすい案内標識の取替え

照明装置を設置している従来の標識を、超高輝度反射シートを採用した標識板に取替えます。夜間の視認性が向上するとともに、従来行っていた照明装置の保守点検や電球の交換が不要になり、車線規制工事の件数を削減することができます。

また、出口の案内標識に「次は」の表現を追加することで、よりわかりやすい案内とします。



施工前



施工後

超高輝度反射シートを採用した標識板の事例

データファイル

■工事内容

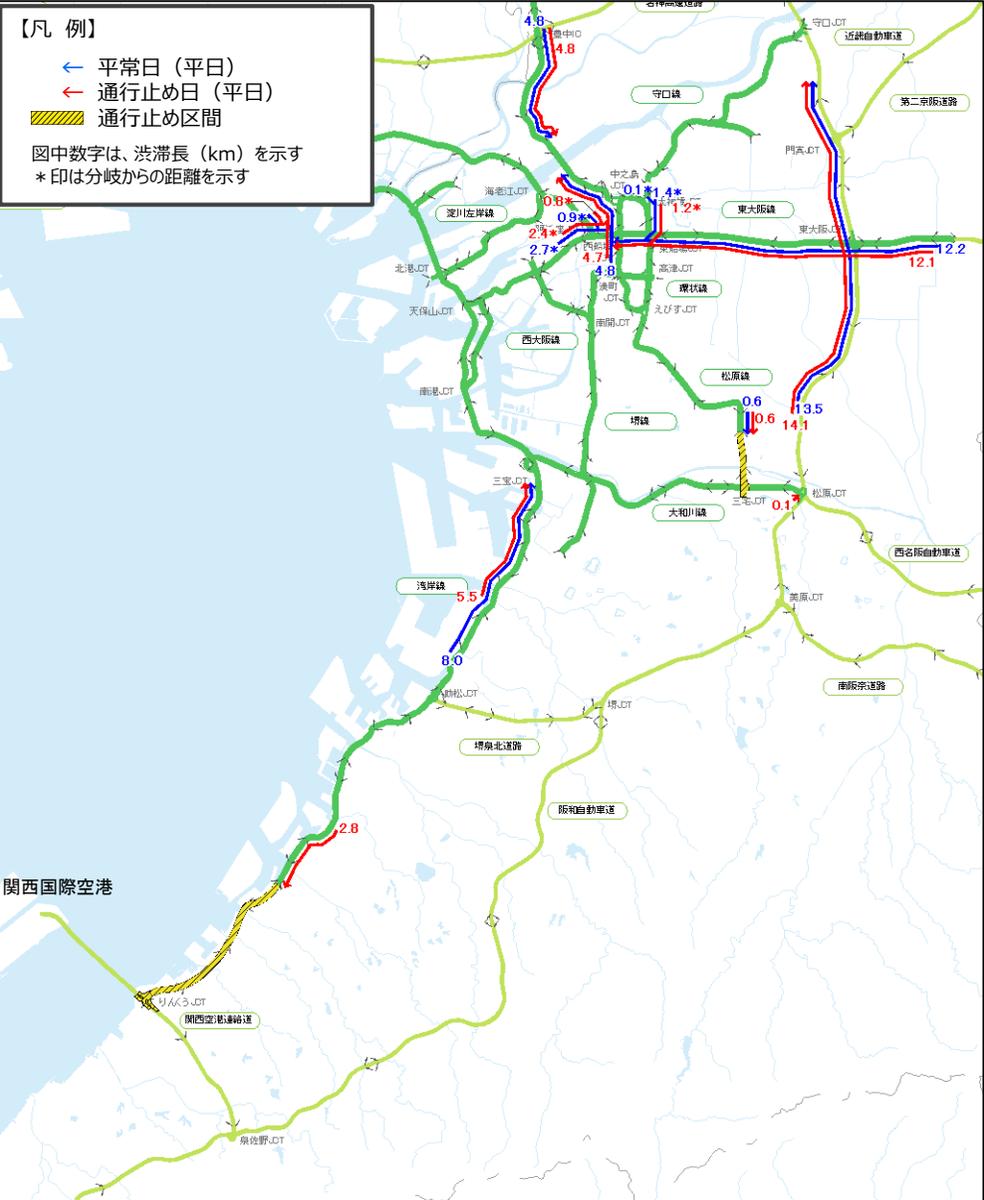
工事内容	単位	工事数量	備考
1. 構造物の長寿命化(リニューアル)			
SFRC 舗装	m ²	約 16,000	
高性能床版防水	m ²	約 30,000	
2. 安全性・走行性の向上、沿道環境の改善			
舗装補修 (うち排水性舗装)	m ²	約 132,000 (約 99,000)	補修率 100%
伸縮継手補修	レーン	11	
3. サービスの向上			
道路標識・看板取替	式	1	
4. 機械設備の更新			
軸重計設置工事	箇所	1	
5. 構造物点検			
構造物点検	式	1	通行止め区間

『4号湾岸線（貝塚～りんくうJCT）リニューアル工事』期間中の渋滞予測

※2019年の交通量を参照して通行止めした場合の渋滞状況を予測

【凡例】

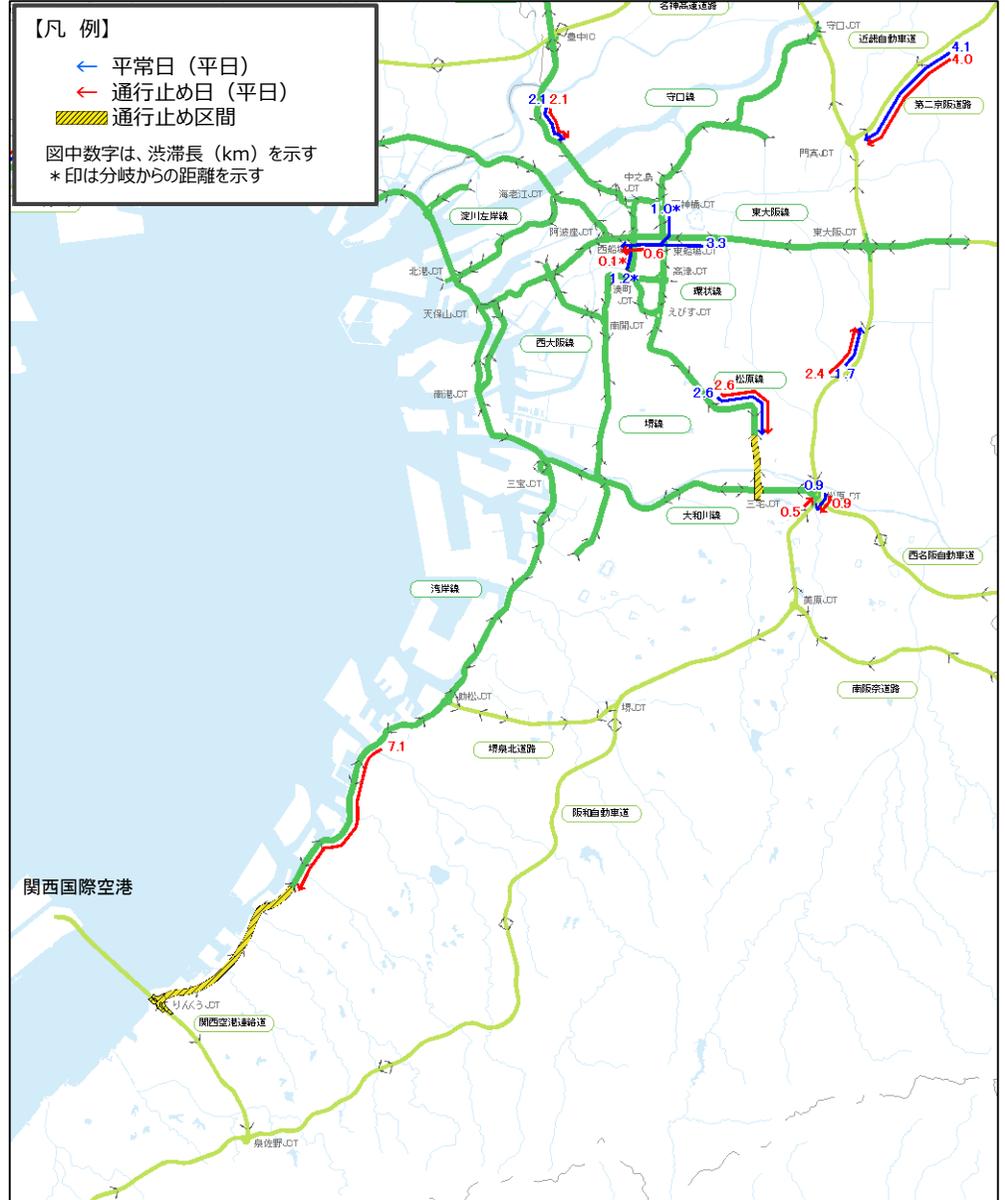
- ← 平常日（平日）
 - ← 通行止め日（平日）
 - ▨ 通行止め区間
- 図中数字は、渋滞長（km）を示す
* 印は分岐からの距離を示す



期間中の高速道路の渋滞予測（8時台）

【凡例】

- ← 平常日（平日）
 - ← 通行止め日（平日）
 - ▨ 通行止め区間
- 図中数字は、渋滞長（km）を示す
* 印は分岐からの距離を示す



期間中の高速道路の渋滞予測（17時台）

『4号湾岸線（貝塚～りんくうJCT）リニューアル工事』期間中の渋滞予測

※2019年の交通量を参照して通行止めした場合の渋滞状況を予測

【凡例】
 ← 平常日（平日）
 ← 通行止め日（平日）
 通行止め区間
 图中数字は、渋滞長（km）を示す



期間中の一般道路の渋滞予測（8時台）

【凡例】
 ← 平常日（平日）
 ← 通行止め日（平日）
 通行止め区間
 图中数字は、渋滞長（km）を示す



期間中の一般道路の渋滞予測（17時台）